



Go West!

佐賀県立唐津西高等学校

学校だより NO.10 R4.09.01

【建学の精神】朝（あした）に希望 夕べに感謝

文責 学校長 下村 昌弘

E-Mail shimomura-masahiro@education.saga.jp

美しいお辞儀 —足先の向きは心の向き—

登校坂で、振り返り、車に向かって一礼する生徒さんの姿に感激したことを以前書いた。

日本には「行き逢う時の礼」という作法がある。

例えば廊下や道路では中央が上座で、端が下座。神社にお参りする時に参道の真ん中を歩かないのは上座になるからだ。

先日、校内で素晴らしいお辞儀に出会った。その生徒さんは廊下の端を歩いている。私もその反対側の端を歩いていた。すれ違う時、その生徒さんは私の少し手前で立ち止まり、私の方に足先を向けて会釈（軽い礼）をした。しかも、とても自然な感じで。

すれ違うときに挨拶を交わすのは当たり前前の作法としても、狭い廊下で足先をきちんと相手に向けて一瞬立ち止まってとてもいい感じのする会釈をするのは見たことがなかった。

そういえば、今朝も、登校坂の途中で自転車を止め、体を反転させて挨拶をしてくれた生徒さんがいてくれたっけ。

きれいなお辞儀は頭、首筋、背筋がまっすぐになっている。意識すればだれでもできるのだが、相手を感じさせるのは相手の方にきちんと心に向けているかだと思う。

そういえば東京勤務時代、民間企業から出向していた若い同僚が腰から直角に折れるくらい深いお辞儀をするのを見て、教員の自分にはなかった姿勢だなと感心したことがある。

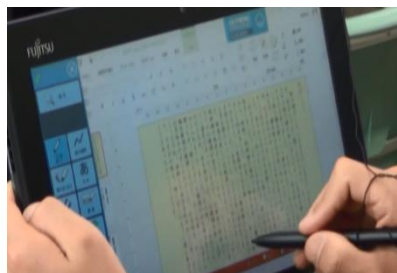
ハナコフェアで比田井和孝氏が「〇〇のせいで」とすぐ人のせいにするのではなく「〇〇さんのおかげで」と相手に感謝するようにすると見える世界が変わると教えてくださった。

この美しいお辞儀の生徒さんを見ながら、“西高も捨てたもんじゃないなあ”とうれしく思うとともに、「人のために」という発想を思考や言動の基本に据えたいと改めて感じたところである。



GIGA スクール時代を生きる君たちへ —正解のない問いに向けて—

ギガスクール構想という言葉聞いたことがあるだろうか。文部科学省が全国的に ICT を活用した教育を推進している。



タブレットに書き込む様子

「ギガ」は「GIGA」で、「Global and Innovation Gateway for All（グローバルな技術革新への扉を全ての子どもたちへ）」の意味。日本の教育は大きな変革期にある。

いち早く ICT に取り組んできた我らが西高は、PC を文房具的に使いこなすといった段階へ進み、さらに総合的な探究の時

間で新しい試みがはじまっている。

これからは“いわゆる成績のいい生徒”の基準は次のようなものになると言われている。

- ・問題を発見できる生徒
- ・その問題をプレゼンできる生徒
- ・正解があるかどうか分からない問題の正解を求めて探究できる生徒
- ・探究の結果をプレゼンできる生徒
- ・プレゼンを聴いて、質問のできる生徒
- ・自分の考えを積極的に述べてディスカッションできる生徒

そして10年もすれば、君たちを含め、このギガスクールで育った第一世代が、大学卒の新入社員として、会社に入り活躍する。こうした世代が、20代、30代で早くも会社を大変革させる、そのような状況がこの国のいたるところで起こってくるのではないだろうか。

「先生から教わるばかりではない教育」を受けてきた西高生は、問いを見つけ、その問いについて自分の頭を使って考える、つまり“思考”する習慣が身につくことを期待している。

お兄ちゃん、お姉ちゃん、わかりやす〜い！ —西高生が学習指導—

8月18日から23日の平日午後、本校ボランティア部が唐津市立長松小学校の児童に夏休みの宿題を教える学習会を開催した。(写真)初めての取組で新聞社3社、テレビ局2社から取材を受け社会的な反響を感じた。



場所はフードバンク唐津(生駒代表)から提供を受けた民家。学校とも家とも違うサードプレイスでちょっと隠れ家的な雰囲気。高校生が小学生たちに国語や算数のドリルをマンツーマンで指導し、子どもたちからは「宿題がはかどりました」とのコメントをもらえた。

意外になかった小高連携に達成感を。地域の活性化につながれば西高冥利だ。

ボランティアとは“考え”実行するもの —“開発的”ボランティアを一中生に指南—

8月22日、唐津市立第一中学校の始業式的一幕に本校と唐津南高校からボランティアの取組を紹介した。



一中校長室から各教室へ配信する様子

KPP(虹の松原清掃)の活動や市内清掃を紹介しながら「西高ボランティアは作業的・奉仕的活動から自ら考えて実行する創造的・起業家的活動に進化している。中学生のみんなも積極的に取り組んでみて」と激励。

9月には高齢者向けのボランティアも企画している。(右図)

【9月前半の主な行事】

9月 2日(金) 双松祭文化の部

5日(月) 面談週間(9日まで) 10日(日) ベネッセ模試(3年)

地域の高齢者向けのちぎこっとボランティア

孫の手クラブ

玄関先の掃除、ゴミ出し、買い物など、日常のちょっとした生活のお手伝いを西高生が訪問支援します。
「かゆい所に手が届く、孫ほどの年の差のある高齢者の家庭の家事お手伝いに役立ちたい」という思いを込めて“孫の手クラブ”と名付けました。

2022年
9.12(月)~
9.22(木)の平日
時間 17:00~18:00
対象 概ね60歳以上で、夫婦もしくはおひとりでお住まいの方
場所 長松、成和、大志校区
内容 対象者のちょっとしたお手伝いを本校生徒(2名以上)で行います。
方法 学校へのボランティア要請(氏名、所在地、日時、内容等の連絡)
申し込み先電話:0955-72-7184(教頭)
(ボランティア部顧問佐藤)

ちょっとしたお手伝いの例
ちょっとした掃除
ゴミの整理
(新聞や雑誌のくくり作業等)

主催:佐賀県立唐津西高等学校
住所:佐賀県唐津市町田字
大山田1992